

ワクチン配分量 県内自治体減へ

ファイザー供給不足

新型コロナウイルスワクチンの国からの供給について、七月下旬の県内自治体への配分量が前回に比べて減る見込みであることが分かった。県内市町の調整役を担う県は「配分を調整してできるだけ市町の接種に影響が出ないようにした」とする。

背景にはファイザー製ワクチンの供給不足がある。見通しがたたないため全国各地で接種や予約受け付けを一時停止する影響が出ている。県内でも福井市が六月二十四日から集団接種の新規予約を一時停止している。国は各自治体に二週間分の配分量を通知している。今回の二週間分について、国は一万六百箱（一箱・千百七十回分）を配分。うち最低限の基本計画枠として八千箱を当てる。

総人數	1324 (+9)
直近1週間	84 (-9)
福井市	595 (+5)
坂井市	150 (+1)
越前市	94 (+2)
鯖江市	73 (0)
大野市	32 (0)
あわら市	31 (0)
勝山市	14 (0)
敦賀市	146 (0)
小浜市	52 (0)
越前町	27 (0)
永平寺町	21 (+1)
南越前町	9 (0)
池田町	1 (0)
若狭町	18 (0)
高浜町	18 (0)
おおい町	9 (0)
美浜町	4 (0)
県外	30 (0)
死 亡	35 (0)
重 症	0 (0)
軽症ほか	136 (-4)
宿泊療養施設	15 (-6)
県外入院療養	0 (0)
退 院	1138 (+19)
病床占有率	45.1%
ICU占有率	0%

*占有率には県外で感染確認された人を含む

県へは一日に基本計画枠分が五十二箱と通知された。前回の基本計画枠分は七十六箱だった。基本計画枠の他、各自治体の在庫量

市町の集団接種、医療機関での個別接種、企業での職場接種など接種が着実に進む中で表面化したワクチンの供給不足。県健康福祉部は「市町や医療機関が態勢を整えて接種を加速させた。国は責任を持って取り組んでもらいたい」と訴える。（長谷川寛之）

県内コロナ新たに9人

飲食店関係で4次感染確認

県は三日、新たに福井市、越前市、坂井市、永平寺町の三十一、七十年代の男女九人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。新規感染者の確認は二十一日連続。累計は三千一百二十四人。福井市中心部の飲食店関連では、四次感染者が初めて一人確認された。

新規感染者九人のうち、福井市の四十代会社員男性と越前市の七十代無職男性、永平寺町の三十代会社員男性の三人は新規系統とみられる。残る六人はこれまで感染が確認されている。かこ内は前日からの増減。単位は人

県内の新型コロナウイルス感染状況（3日）

国内での確認	80万5142人(+1881)	順位4842
4万1427 (+30) 1403	1324 (+9) 135	山口 126
2518 (+7) 31	2118 (+11) 21	広島 175
1707 (+14) 247	5039 (+2) 291	島根 78
9175 (+12) 890	9273 (+4) 187	鳥取 163
901 (+7) 20	9387 (+18) 51	石川 31
2027 (+5) 247	5万1219 (+45) 971	福井 75
4943 (+16) 161	5266 (+7) 112	愛媛 26
1万0621 (+28) 166	5574 (+4) 90	高知 622
7109 (+28) 82	1万56642 (+19) 246	佐賀 24
8048 (+6) 152	10万3762 (+148) 2560	長崎 59
4万6816(+116) 1332	4万1005 (+22) 1308	熊本 118
4万0737(+157) 710	8243 (+11) 131	大分 164
17万5983(+716) 2238	2693 (+3) 49	宮崎 274
6万8078(+254) 1952	488 (+4) 2	鹿児島 138
3414 (+6) 52	553	沖縄 121
2042 383	空港検査など 3168 (+14) 15	コスタアトランチカ 149
3949 (+8) 115	チャーター機 14	(長崎クルーズ船)

ダイヤモンド・プリンセス（横浜クルーズ船） 712人 131

入院・療養【うち重症】 1万6284人 [501] 3日午前0時現在 80万5854人 (+1881)

退院・療養解除 77万2443人 (+1776) 厚生労働省による 死者 1万4855人 (+9)

()内は前日からの増加。■内の数字は死者

や接種実績などに応じた調整枠の数量は五日以降に通知される見込み。

感染（））にうつり、その同居家族（四次感染）が感染していったことが分かった。

死者は北海道と千葉で各二人などの報告があり、計九人だった。厚労省による重症者は五百一人で前日より十人減少した。

テージ4（爆発的感染拡大）相当だった。

人口十万人当たりの新規感染者数など三つの指標がス

感染（））にうつり、その同居家族（四次感染）が感染していったことが分かった。

死者は北海道と千葉で各二人などの報告があり、計九人だった。厚労省による重症者は五百一人で前日より十人減少した。

テージ4（爆発的感染拡大）相当だった。

人口十万人当たりの新規感染者数など三つの指標がス